

快適な住空間を
創造・先取り提案

Panasonic

advance
creative
amenity

高野内建設 株式会社
0476-95-0217(代)
千葉県印旛郡栄町安食 2481-15
<http://www.takanouchi-kensetu.jp/>
栄町建設協同組合加盟店

水無月～みなづき～

水無月とは陰暦で6月の事を言い、「水の月」という意味です。「田植えで水が必要になる月、梅雨で天の水がなくなる月」という説などがあるそうです。また、他にも「水無月」という和菓子があり、6月30日は水無月を食べる日になっています。京都では1年の半分の折り返しにあたる6月30日に、これまでの罪や穢れを祓い、残りの半年を無病息災で過ごせるようにと祈願する神事「夏越祓(なごしのはらえ)」が行われ、そこに用いられるのが「水無月」です。水無月の上ののっている小豆は、悪魔祓の意味があり、三角の形は暑気を払う氷を表しています。



2014年アクア情報

水無月

A様邸 屋根葺替工事

《着工前》 《工事中》 《完成》



A様の声

地震や今回の雪で屋根が少し崩れてきたので、高野内建設さんに相談した所、錆びにくい板金の屋根と外壁の塗装を提案して頂き、屋根も壁も新しくなったのでとてもきれいになりました。雨漏りの心配もなくなり、屋根が軽くなったので地震の時にも安心できます。高野内建設さんをお願いして良かったです!!

担当者の声

今までは瓦の屋根でしたが、点検をした結果、全体に瓦がずれていて下地も傷んでいるようだったので、板金の屋根に葺き替えをおすすめしました。瓦自体はまだしっかりしていますが、下地の野地板等が劣化していました。野地板を張替して、ガルバリウム鋼板の屋根にすることで軽く丈夫な屋根ができました。地震や台風にも安心です。



担当: 戸田

～印西市小林 T様邸 新築工事～

地鎮祭の様子



完成予想図



担当者の声

印西市にて、新築工事が始まりました。それに伴い、先日、地鎮祭を執り行いました。地鎮祭とは、その土地の神(氏神)を鎮め、土地を利用してもらうことの許しを得ることで工事の無事や安全、竣工後の建物や家の繁栄を祈る儀式です。安全第一に良い家ができるよう取り組んで行きたいと思います。新築や建替えをご検討中の方はお気軽にお問い合わせ下さい。



担当: 高野内

ちょっといい話が入荷いたしました!!

<栄町の住宅リフォーム補助金制度>



・栄町への定住・移住の促進と住環境の向上、町内産業の活性化を図る為、住宅リフォーム費用の一部が、栄町より給付されます。一戸建て住宅または、併用住宅の住宅部分のみが対象となります。受付期間は、平成26年6月2日(月)～平成26年11月28日(金)までです。補助金の額は、住宅リフォーム工事費用の10分の1以内で、上限額は10万円となります。なお、カーポートやバルコニー、門や塀等の外構工事は補助対象外となります。当社で手続きを代行致します。先着順になりますので、ぜひお早めにご相談下さい。詳しくは高野内建設までご連絡下さい。 ☎95-0217 担当: 鈴木



住宅用語のあれこれ



1) 長期優良住宅とは…??

・平成21年(2009年)6月に「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」が施行されました。この法律に基づき、長期にわたって良好な状態で使用できる基準をクリアした新築の住宅の事を「長期優良住宅」と言います。住宅ローンを組まれている方は、ローンの残高に対して最大1.2%(最大600万円)減税されるなど、その他租税が減税になります。

2) 長期優良住宅化リフォームとは…??

・既存住宅(中古住宅)において、劣化対策や耐震性、省エネルギー対策など住宅の性能を一定の基準まで向上させるリフォームの事です。平成26年(2014年)2月に成立した国土交通省による「長期優良住宅化リフォーム推進事業」制度により、「長期優良住宅化リフォーム工事」をした費用に対し、国が最大100万円の補助金を交付します。

3) 高気密・高断熱とは…??

・気密化は「隙間をなくすこと」、断熱化は「室外の温度を遮断すること」。高気密・高断熱住宅は、外の暑さ・寒さからの影響を最小限にし、エアコンなど少ない冷暖房エネルギーで室内の温度をコントロールします。特に、冬場は部分暖房でなく、室内全体を一定の温度に保つため、温度差によるヒートショック(※1)などの家庭内事故も防いでくれます。

(※1、ヒートショック…急激な温度変化により、血管が伸縮して、血圧が急激に変動したり、脈拍が速くなったりする症状の事です。暖房の効いたリビングから寒い廊下やトイレに移動した時や、脱衣室や浴室から熱い浴槽に入る時などに起こりやすいとされています。)



担当: 高橋

※社長のつぶやき※

連休も終わり、爽やかな五月を迎えて、『目に青葉、山ほととぎす、初鯉』となりました。消費税前の駆け込み需要と雪の被害の影響により、年度内忙しく、本当に大変でした。皆様に迷惑をかけました事、お詫びします。これから生き残りを懸けて、本当の勝負の時となるでしょう。「アベノミクス」とか言われていますが、我々には程遠い話です。先日、「町や村が無くなる」と新聞に報道されました。

“栄町が千葉県トップ”とビックリしました。若者がいない、子育て世代がいないと2040年には栄町が無くなると、我々も何かしないといけない…このままで良いとは思いません。何か知恵を出し合いましょう。そして、将来の栄町の存望を懸けて。

Young people, come back to 栄!!

高野内建設(株) 代表取締役 高野内 勝幸

